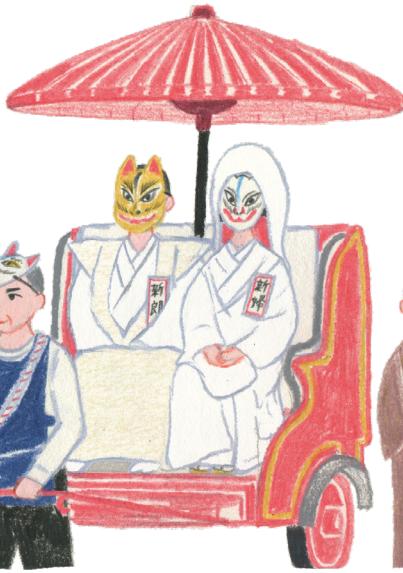


季刊ジャネット Ja-Net

スリーエーネットワーク
October 2025
No. 115



きつねの嫁入り(稻穂祭)

巻頭寄稿

物語を援用した言語学の学び

東北大学大学院文学研究科

教授 甲田直美

物語の言語学

先ごろ『物語の言語学—語りに潜むことばの不思議』という、物語の面白さを垣間見つつも、言葉の仕組みを解いた本を上梓しました。従来の言語学の視点から一歩踏み出して、物語という別の視点で言葉の魅力を捉えようとしたのですが、この本を執筆する過程で再認識した、物語を通して言葉を考えることの効用について触れてみ

たいと思います。物語は絵や映像、音楽による助けもありますが、言葉を編むことによって成り立っています。物語の力を援用することで、言語学の学びをより印象的に、魅力的にする可能性を考えます。



『物語の言語学—語りに潜むことばの不思議』(ひつじ書房)。物語、神話、漫画、うわさ、都市伝説、ナラティブ・ケアなどから具体的に、言語学と隣接領域を学ぶ

Contents

- 4 あちこち日本語ご紹介
神奈川県 横浜市
- 5 みんなの“日本語 View from the Other Side”
陳柏伸(台湾)
- 6 教材紹介
『KANJI 323 初級 一読み書きの基礎ー』
『10 のレッスンでわかる 入門 フィンランド語』
- 8 インフォメーション

物語のフレーズを用いて言語の特徴をとらえる

物語を例に言葉を提示することの利点は、文脈を与えられることです。次は、よく知られる昔話「桃太郎」の冒頭です。用いられる助詞の「は」と「が」は、それぞれ置き換えにくく、何らかの使い分けがあることに気づきます。

(1) むかしむかし、あるところにおじいさんとおばあさんがいました。おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。

初出の新情報には「が」が用いられ、いったん定まった旧情報には「は」が用いられることがわかります。日本語では動作主と述語の関係だけではなく、文脈の連鎖の中で「は」と「が」の使い分

けがあるので。これは英語の不定冠詞と定冠詞の使い分けにも通じます。

(2) Once upon a time, there lived an old man and an old woman.

Every day, the man went to the mountain to gather firewood, and the woman went to the stream to wash their clothes.

日本語では助詞、英語では冠詞で表し分けられています。次の例では、動詞の形式を見てみましょう。

(3) 海賊王におれはなる!!!!(尾田栄一郎『ONE PIECE』の主人公の台詞)

日本語のいわゆる現在形は、いつも現在を表すわけではありません。「なる」は未来への意志を表しています。日本語では現在形と未来形が同じ形ですから、この形式は「非過去形」としてまとめて分類できます。このように各物語の印象的な場面やフレーズとともに言葉の特徴を示すことができます。

音声教育についても、よく知られた物語内の一節を用いることで身近に感じられます。次は、桃太郎の一節を表したIPA (International Phonetic Alphabet 国際音声記号)です。

(4) o:kⁱna mo/moŋja[~]dombu^θrako
dombu^θrakoto na/ŋa\rete kⁱ /ma\
cita (大きな桃がどんどんと流れきました)

IPAは世界中の言語の音声を表記するための記号で、音声学の授業で



写真1 『星の王子さま』は多くの言語で翻訳されている。写真右端は古代エジプトのヒエログリフ

はよく取り上げられます。IPAを紹介する際に、単音や単語だけでなく、より長い文や文章を扱うことで、イントネーションを意識することができます。拙著の中では、IPA表記や音声分析ソフトの使い方を桃太郎の朗読音声をもとに解説しています。一見難しそうに見える内容を教えるときには、いかに身近に感じてもらうかが大切だと思います。

物語の翻訳を見比べる

世界で最も多くの言語に翻訳された本は『聖書』ですが、物語でいうとサン=テグジュペリ『星の王子さま(Le Petit Prince)』が有名で、300以上の言語に翻訳されています。この作品はもとはフランス語ですが、英語、日本語、中国語などの他にも、人工言語のエスペラント、古代エジプト語(ヒエログリフで表記)、ゴート語、クレオールの訳も存在します。つまり母語話者が

いない言語、すでに死んでしまった言語の翻訳まであるのです。ですから私は「星の王子さまにみる世界の言語」と称して、比較・対照言語学を教えています。

『星の王子さま』という題名は、フランス語のLe Petit Prince(小さい王子)とは異なっています。原文には「星の」という言葉、敬称「さま」はありません。これはフランス文学者である内藤濯による訳ですが、岩波書店が長い間、日本での独占翻訳権を持っていたため、日本ではこの訳が定着した感があります。

下の図は「王子さま」がキツネに出会う場面の一節です。キツネが「王子さま」にあいさつをするのですが、フランス語のボンジュール(bonjour)は何と訳されているでしょうか。

フランス語のbonjourは朝でも昼でも使えるので、そこを何と訳すかが問

Bonjour, dit le renard. (原文、フランス語)
「こんにちは」と、キツネがいました。(日本語)
“你好,” 狐狸说。(中国語)
"Good morning." said the fox. (英語)
"Aloha kāua," wahi a ka 'alopeka. (ハワイ語)
"Howzit," da fax tell. (ハワイピジン)

各言語の『星の王子さま』の表現

物語に現れる言葉の不思議とその魅力

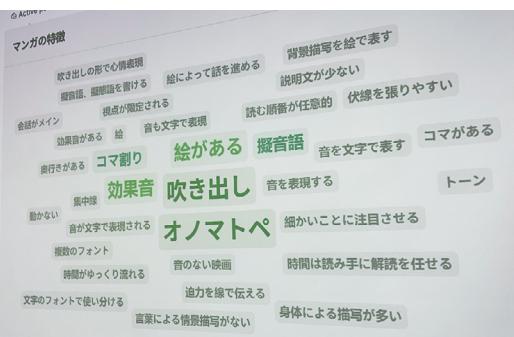


写真2 授業（講義形式）で提示したSlidoの画面



写真3 中国の武漢大学で行った談話研究に関する講演の様子

題となります。国や言語によって、朝と昼で同じ挨拶の言葉、あるいは別の言葉を用いる場合があります。英語のGood morningは午後には使われません。ハワイピジンのHowzitは英語の「How is it?」のような汎用的な挨拶からでしょうが、綴り方は異なっています。また、定冠詞theはdaとなり、発音が簡略化しています。ある言語がピジンとして定着するとき、発音や文法は簡略化されることが多いのです。

このように物語の翻訳は、言葉や文化を考えるきっかけにすることができます。

授業での取り組み

私は大学での授業の一つで、「物語の言語学」と称して、物語作品をもとに言語学の知識一般を解説した授業を行っています。言語学の諸分野というと、文法論、音声学、音韻論、意味論など、堅いイメージがあるかも

しません。しかし、授業では漫画やアニメ、映画などから具体的に、言葉の事例を扱うことで、生きた言葉の分析に親しんでもらっています。たとえば文法論で出てくるテンス・アスペクトという動詞の表し分けを、物語の描き方や、コマ割りという漫画の画面分割に絡めて説明しています。

また、言語理論や思想家を紹介する際、ルイ＝ストロースの構造主義やジャック・デリダの脱構築などの難解そうなものでも、具体的なアニメ作品から考え直すことで、学生は理論の受容者に終わるだけではなく、検討する参加者になることができるのです。こうすることで、抽象的な説明に終始せずに、実感できる学びにつながるでしょう。

授業では教師と学生は一对多ですが、たとえ階段教室での講義であっても授業内で学生が参加したという実感が得られる工夫をしています。写真2は授業内で提示しているSlidoというソフトウェアの画面です。学生がQRコードをスマートフォンなどで読み取り、回答を入力すると、その回答をリアルタイムで集計、共有することができます（このときは「漫画の特徴」を回答してもらいました）。

表現とエンパワーメント

私は大学院時代から一貫して、文章・談話の研究を続けてきました。「物語の言語学」もその一環です。現在は研究や教育活動を通して、伝え手のエンパワーメントにつなげたいと考えています。

例えば、談話研究でいうと、地域の民話や語りを伝承することで話者が強くなっていくのではと考えています。つい先日も、東日本大震災で被災した東北沿岸部に方言調査に行ってまし

た。この地域では消滅の危機にある方言が話されており、文化庁が調査対象地域に指定しています。

また、文章の研究では、文章を書くことで考える力を身につけるための教科書を作成しました。『大学で学ぶアカデミック・ライティングの教科書』（ひつじ書房2025年）という、アカデミックな場面で活躍するための思考力を育てる本です。以前、『文章を理解するとは』（スリーエーネットワーク2009年）で「読むこと」について書きましたが、「読み書き」というように、「書くこと」についても本にまとめたいと思っていました。大学での教員生活が30年近くたった今、文章の研究者として、大学人として、伝え残しておきたいことをまとめたのがこの本です。次世代を担う人たちに、表現することを通して発信力をつけていってほしいと願っています。

皆さんがご存じのように、世界情勢は混迷を極めています。このような状況下で、エンパワーメントを考えようになったのは、迷わないように自分の軸を整え、地に足をつけたいという私自身の願いからくるものなのかもしれません。



甲田直美 (Koda, Naomi)

東北大学大学院文学研究科教授。専門は言語学。主な著書に『大学で学ぶアカデミック・ライティングの教科書－〈書く力〉を引き出す問い109』（ひつじ書房2025年）、『物語の言語学—語りに潜むことばの不思議』（ひつじ書房2024年）、『文章を理解するとは 認知の仕組みから読解教育への応用まで』（スリーエーネットワーク2009年）、『談話・テクストの展開のメカニズム—接続表現と談話標識の認知的考察－』（風間書房2001年）、『認知日本語学講座 第5巻 認知語用論』（くろしお出版2016年共著）など。

あちこち日本語ご紹介

神奈川県 横浜市

社会・地域とつながる人財を育てる カリキュラム編成と、研修の改革

横浜デザイン学院 日本語学科

教務主任 佐久間みのり

横浜デザイン学院の前身は、女性の自立と洋裁技術の普及を目指して開校した戸部洋裁専門女学院です。2001年に横浜デザイン学院に名称を変更し、留学生を受け入れる日本語学科を設立しました。現在の当校はデザインや美術が好きという高校生・専門学校生・留学生が一つの校舎で学ぶユニークな学校です。

カリキュラムの見直し

当校は、日本語教育振興協会「日本語教育スタンダード」を活用したカリキュラムや評価の改善に取り組んできましたが、当時は認定日本語教育機関を意識したものではありませんでした。日本語教育の参照枠が策定されたことや、コロナ禍で留学生が日本に入国できない状況の中で、今後の留学や日本語学校は必ず変わるとの思いを強くし、改めてカリキュラムを

検討する機会をもちました。

最初に取り組んだのは一番上のレベルの活動の見直しです。教育理念に基づき、日本語学科の教員たちで教育の大きな柱にしたいと考えたのは「自己表現と他者理解」というキーワードです。教育目標を「言語やそれ以外による自己表現と他者理解を通じ、他人や社会、地域とつながる人財を育成する」とし、地域の方へのゲストインタビューやディスカッション、フィールドワーク、アートカード、対話型鑑賞、美術館のワークショップや講義を行うような、学校独自の社会とつながる活動を総合的な学習や行事としてカリキュラムに組み込んでいきました。

上級クラスでは前期に社会課題やマイノリティ、多文化共生をテーマにしてフィールドワークやインタビュー、ディスカッションを行います。後期は地域課題を発見し解決するというテーマを設定し、最終的に卒業制作展でそれまでの学びをまとめて発信します。教室内外にとどまらず外に向けて発信す



卒業制作展で「学校に入学して学園祭を体験するゲーム」を作ってくれた学生たち

る機会もあり、言語以外の表現方法を知っている学生がいるのも当校の特徴です。

教員研修の改革

教員研修の改革にも力を入れました。今まで実施していた勉強会は、各教員の能力向上が主な目的でしたが、これからは学校全体のカリキュラムの向上に重きを置き、常勤・非常勤合同でカリキュラム改善・ループリックやタスク検討の勉強会を実施することにしました。また、評価を決定する際は全教員参加型で評価会を実施します。学生のパフォーマンス「話す(発表)」「話す(やりとり)」「書く」は、ループリックを使い複数名で評価し、成績に反映させるというものです。今年度はこの取り組み自体を近隣の日本語学校の先生方に見ていただき、外部の方の意見や評価をいただく機会も設けることができました。

未来に向けて

国に認定された日本語教育機関が、そして国家資格となった登録日本語教員が、一体何のために学生を評価するのか。試験に惑わされるのではなく、彼らの日本での学びに多様で信頼性の高い評価を与えることが、日本で生きていく自信や可能性につながるのではと思います。

学校が変わると、社会が変わるとのときです。世界で起きている様々な出来事からも、日本語教師という仕事や日本語学校がこれからの社会を作っていく重要な役割を持っていることは皆さん感じていると思います。ならば、私たちの望む社会はどんな社会なのか。真剣に考えながら、カリキュラムや評価の改善を続けていきたいと思います。

みんなの“日本語View from the Other Side”

このコラムでは、学習者や日本語に携わる方の視点から話題をお届けします



陳柏伸 (Chen Bo-shen)

台湾台南市出身。南台科技大学で非常勤講師として日本語を教える傍ら、東立出版社、台湾角川、青文出版社などで翻訳者として活動。担当作品は『名探偵コナン』『無職転生』『ELDEN RING 黄金樹への道』『対アリでした。』など、漫画からライトノベルまで幅広いジャンルを手掛ける。

illustration 内山洋見

日本語学習のきっかけ

大学入学時は電子工学科に在籍していました。しかし、子どもの頃から漫画やアニメに親しみ、「日本語や日本文化を学びたい」という気持ちが強く、南台科技大学の日本語学科へ転学しました。編入後1年で日本語能力試験N2に合格、翌年には最難関のN1を取得することができました。興味があることを学ぶことこそ、最も学習効率を高める要因だと強く感じます。

翻訳者としての歩み

翻訳の世界に入ったきっかけは、出版社で働く友人の紹介でした。最初は小規模な作品から任せられましたが、その後徐々に知名度の高い作品

名作の魅力を 台湾の読者へ届ける

を担当するようになり、自ら出版社の試訳にも応募し、実績を積み重ねました。『名探偵コナン』の翻訳を任せられたのは28歳のときでした。子どものころから読み続けてきた作品に携わることは夢のようで、本当に嬉しかったです。この知らせを聞いた友人たちも皆「おめでとう」と声をかけてくれました。改めて、この作品が多くの人々に影響を与えてきたのだと実感しました。

翻訳の仕事を通じて、自分の好きなアニメ・コミック・ゲーム文化に日々触れられるのは、大きな喜びです。好きな作品を翻訳する機会をいただけたときは、達成感と同時に強い責任感も覚えます。翻訳の際には、作品の魅力を損なわず、かつ読者に自然に伝わる言葉選びを心がけています。

大学での翻訳教育

大学で翻訳の授業を担当する際には、自分が実際に翻訳した作品を教材に使いながら、翻訳の8つの基本的な手法「直訳」「加訳」「減訳」「転訳」「反訳」「変訳」「分訳」「創訳」を解説しています。例えば「僕の名前は江戸川コナン。」のようなシンプルな自己紹介文は直訳が適切です。一方で、「がさいれ」のような表現は、台湾の読者に馴染みのある隠語「査水表(水道メーターの検針)」と訳すことで、より

自然で親しみやすいニュアンスが伝わります。このように、翻訳では常に「どの方法が最も適切か」考える必要があり、非常に挑戦的ですが、その分大きなやりがいがあります。

日本語上達の秘訣

私の経験から言えば、日本語上達の秘訣は「好きなものを徹底的に楽しむこと」です。漫画やアニメ、ライトノベルなど心から夢中になれる分野を通じて日本語に触れることで、自然と語彙や表現が身についてきます。加えて、実際に声に出して読む、書いて表現してみるなど、能動的に日本語を使うことも重要です。そして、翻訳作業を通じて培った感覚として、単に辞書的な意味を理解するだけでなく、「その言葉がどういう場面で、どんな感情を伴って使われるのか」という文脈的理解を意識することが、より自然な日本語運用につながると考えています。

結びに

日本語の学習と翻訳の仕事は、人生を大きく変えるきっかけとなりました。好きな文化を通じて言語を学び、それを仕事として次の世代や読者に伝えられることは、非常に幸せなことだと思います。これからも翻訳者、教育者として日本語の魅力と奥深さを多くの人に届けていきたいと考えています。



青山剛昌『名探偵コナン』(小学館)の77巻から翻訳を担当。画像は青文出版社(台湾版)の最新巻

『KANJI 323 初級－読み書きの基礎－』

向井留実子・菅野真紀子・串田真知子・田代桜子・築地伸美・宮本あかね 著

B5判 220頁 別冊28頁 2,420円(税込) 11月発行予定

愛媛大学

非常勤講師 向井留実子

本書は、『Write Now! Kanji for Beginners』(2006年発行)の改訂版です。非漢字圏の学習者向けに、N5・N4レベル相当の漢字を含む323字を取り上げ、英語とベトナム語の訳をつけました。漢字仮名交じり文を読んだり書いたりする漢字運用力を身につけることを目指しています。特長は以下の通りです。1)～2)は初版から引き継いだこと、3)～6)は言語習得観や社会の変化に合わせて新たに設けた項目です。

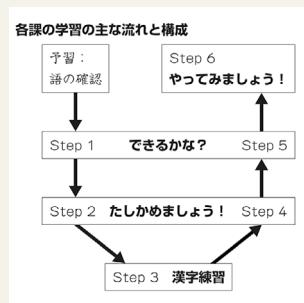
本書の構成と特長

1) 語の知識と漢字知識が結びつく学習

漢字学習は単に文字の学習ではなく、語彙学習でもあります。語の知識を土台として、それに結びつける形で漢字を学ばなければ、漢字運用力は身につきません。そこで、本書は、語の知識を確認してから漢字を紹介し、その語のコロケーションや文法知識を使って漢字練習をすることで自然に漢字運用力が身につく設計になっています。

2) 達成感を味わいながら学習できる構造

各課は、下図のように「できるかな？」から始め、「できるかな？」に戻るループ構造で進めます。初めはできなかったことも、最後にはできるようになったと、達成感が得られるようになっています。



ループ構造の図



イラストも活用し、学習する漢字が使われる場面を確認(第6課「できるかな？」)

81	聞	きー ぶん hear, ask vân	1 1 1 1 1 1 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門	14
----	---	---------------------------	---	----

聞きます／聞く hear, listen, ask nghe, hỏi 聞こえます／聞こえる can be heard có thể nghe
新聞 newspaper tò báo

聞く 新聞
休みの日は好きな音楽を聞きます。 先生にテストの時間を聞きました。
今日の新聞を見せてください。

単漢字の知識を単語から文レベルまでつなげていく

3) 負担なく学べる内容

文中に知らない文法があると漢字学習に集中できません。提示する文法はできるだけ初級前半のものにとどめました。また、打ち込むことが多くなった現代に合わせて、書く練習は必要最小限にし、読めることを重視する内容になっています。

4) 漢字学習の動機づけを促す内容

「漢字が使える」と実感できなければ、学習意欲も湧きません。そこで、習った漢字知識が使える日常的場面で、学習者が行動を選択するタスクを設けました。生活場面でできることを増やし、学習の動機づけとなることを意図しています。

5) 自立学習につながる内容

知らない言葉の意味を、学んだ漢字知識で推測したり、辞書で調べて、新しい言葉の知識を増やしたりする練習を設けました。教科書以外でも知識が広げられる方法を知り、自立的な学習につながることを期待しています。

6) 文字習得の進度に合わせた補助教材

文字の習得には個人差があり、クラス内に進度の異なる学習者が存在することもあります。そこでWEBに、進度に合わせて使える補助教材を用意しました。進度がゆるやかな学習者向けに練習の難易度を調整した教材と、進度が早い学習者向けの学習をさらに深めるための教材です。

本書で、学習者が漢字にハードルをあまり感じず、学習を楽しんでくれることを願っています。

『10のレッスンでわかる 入門 フィンランド語』

奥田ライヤ・野呂きくえ・橋本ライヤ 著

A5判 115頁 1,760円(税込) 好評発売中



日本語教師 絵本作家

野呂きくえ

この本について

皆さんはフィンランドと聞いて、何を思い浮かべますか？シンプルで洗練されたデザイン、男女平等社会、オーロラ、白夜、サウナも注目を集めていますね。ムーミンの故郷の国でもあり、サンタクロースの国でもあります。

本書はフィンランド人の奥田ライヤさんと橋本ライヤさん、教え子の私の「3人のチーム」で書き上げた、初めてフィンランド語を学ぶ人のための本です。2人は40年以上日本人にフィンランド語を教え、日本で発売されているフィンランド語関係の本やその音声のほとんどに携わっています。私は公立の小・中学校で外国に繋がりのある子どもたちに日本語を教えており、日本語教師の視点から学びやすさを考えて本書を作りました。

実はフィンランド語には男女の区別がありません。「彼」「彼女」は、どちらも「hän」で表すことができます。男性名詞・女性名詞の区別もないで、「名詞の性を覚える大変さ」はありません。そしてフィンランド語は発音もほぼローマ字読みです。日本人にとって発音しやすいですね。いくつか難しい発音もありますが、本書で練習すれば上手にできます。

本書の会話場面では日本語教師の主人公が、ごく普通のフィンランド人の日常を楽しく体験する様子が描かれています。皆さんも主人公と一緒に体験してください。がんばらないで、フィンランド語を楽しく学びましょう！

この本の内容

本書は「会話」「新しいことば」「文法と表現」「練習問題」で構成されています。奥田さんと橋本さんが最初に「会話」を作りました。「会話」は短くシンプルですが、フィンランド人の友だちができたり、家のサウナに招待されたりするといった実際に起こりうる内容を取り上げていて、次に何が起こるのだろうと楽しみながら読めます。

「文法と表現」では覚えてほしい文法をわかりやすく、簡単に説明しました。この文法をしっかりと学べば、そのまま本格的にフィンランド語の学習に進むことができます。四季折々の暮らしなど、フィンランドの本当の姿をフィンランド人である2人が書き表したコラム「コーヒーブレイク」では、フィンランドを身近に感じられます。

「会話」を覚えたら、フィンランド人と話してください。できますよ！もっと話したいときは後ろに載っている「付録」や「単語集」を使ってください。「単語集」には約1,000の語彙を掲載しています。本書で取り上げた語彙に加え、会話などの幅を広げられるよう、おすすめのフィンランド料理やお菓子も載せました。

音声もぜひ聞いてください。奥田さんと橋本さんの声はフィンランドの森に包まれているように静かに心に響きます。そして男性の声を担当したJaakkoさんの声は雄大で華やかさがあり、私は凍った湖の上で寝転んでオーロラを見ていた瞬間を思い出しました。

フィンランド語を学んで何をしますか

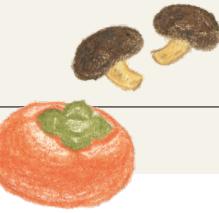
フィンランドで「森を散歩し、街を観光する」「買い物を楽しむ」「サンタクロースと話す」「シベリウスの歌曲をフィンランド語で歌う」、「日本語教師としてフィンランドへ行く」……。そのための第一歩に、ぜひ本書をお使いいただけたら嬉しいです。フィンランド語で皆さんのが世界がより豊かに、素敵になりますように！

●「10のレッスンでわかる 入門」シリーズ

本格的な外国語学習に入る前に、その言語の大まかな姿を知ることができるシリーズです。『ポーランド語』も好評発売中。



シリーズ一覧
こちら



税込み価格です

本

みんなの日本語 初級I 第3版 本冊	2,750円	10月発行
みんなの日本語 初級I 第3版 翻訳・文法解説 英語版	2,200円	11月発行予定
KANJI 323 初級－読み書きの基礎－	2,420円	11月発行予定
日本語初級1大地 文型説明と翻訳 シンハラ語版	2,200円	11月発行予定
JLPT文字・語彙N2 ポイント&プラクティス	1,540円	11月発行予定
JLPT文法N2 ポイント&プラクティス	1,540円	12月発行予定

セミナー

日本語教師に必要な音声の基礎知識を身につける－『日本語教師をめざす人のためのスモールステップで学ぶ 音声』を使って－

講師：池田悠子

日時：12月6日(土) 10:00～12:00

準備物：『日本語教師をめざす人のためのスモールステップで学ぶ 音声』

会場：オンライン(Zoomを使用)

対象：日本語教師養成講座受講生・講師、日本語教師、登録日本語教員試験の受験を考えている方、音声学に興味がある方など

定員：250名 参加費：無料

詳細・申込み

WEBサイトをご確認ください。

<https://x.gd/8SF2b>

締切：12月2日(火) 定員になり次第締切

お知らせ

『みんなの日本語 初級 第3版』刊行のお知らせ

『みんなの日本語 初級』シリーズの第3版を10月より順次刊行いたします。『本冊』は文法シラバスや各課の構成に大きな変更

はなく、場面・語彙・表現を中心に改訂を行います。『翻訳・文法解説』は『語彙』および『本冊』の「文型・例文・会話」の翻訳を中心に改訂いたします。

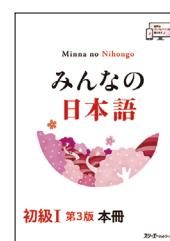
第2版で付属CDに収録の「会話」「問題」および「はじめに」の音声は、当社WEBサイトおよびiOS/Android対応の音声アプリで無料配信します。なお、各課の「ことば」(新出語)、「文型・例文」、「練習A・B・C」の音声は、課ごとに220円(税込)で聞くことができます。

- ・みんなの日本語 初級I 第3版 音声 Web ver. (当社WEBサイトで販売)
- ・みんなの日本語 初級I 第3版 音声 (各アプリストアで販売。アプリ内課金)

『第3版』刊行後も、当面の間、現行版の『第2版』は継続して販売いたします。以上は2025年10月25日時点の情報です。今後の刊行予定・改訂による変更点などの情報は『みんなの日本語』特設サイトで随時お知らせします。ご不明点などにつきましては、特設サイトをご覧ください。

いますようお願いいたします。

改訂による語彙・表現の変更点を公開 →



日本語作文 傑作選をプレゼント

大森和夫さん・大森弘子さん編著『世界の日本語学習者が選んだ「一番好きな日本語』とその理由「一期一会」が断トツ!』(朝日新聞出版)が11月刊行予定。

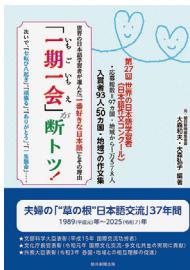
2人が開催した第27回「世界の日本語学習者 日本語作文コンクール」の応募者1万578人(97か国・地域)の作品から選ばれた傑作選。抽選で50名様にプレゼントします。

応募フォーム

<https://x.gd/NV7os>

締切：11月30日(日) 23:59

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。(12月発送予定)



表紙のイラスト

山口県下松市で11月に行われる「稻穂祭」では、きつねの面の新郎新婦と親族一同の婚礼行列が御神幸を彩ります。新郎新婦の正体は法静寺の住職と、髪結いさんにしかわからないそうです。

季刊ジャネット

Ja-Net No.115

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2025年10月25日発行

- 発行人 藤寄政子
- 発行所 (株)スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラスティ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp<https://www.3anet.co.jp/>

- デザイン ベーシック 畠中 猛
- イラスト 竹永絵里 (P.1, 8)
- 印刷 (株)マイナビサポート

© 2025 by 3A Corporation

Printed in Japan(禁無断転載)

『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。次号は2026年1月25日発行予定です。